

# 桂・ニュース

KATSURA  
NEWS

### 基本理念

私たちは、患者さんの人権を尊重し、地域に必要な  
基幹の中心的な医療を担当すると共に、さらに高次  
の医療に対応できるよう努力します。

社会福祉法人 京都社会事業財団 京都桂病院

8月号  
NO.209  
2013・8・1  
毎月1回・1日発行  
〒615-8256 京都市  
西京区山田平尾町17  
TEL.075-391-5811(代)

編集：広報課  
印刷：(有)アクト  
京都桂病院ホームページ  
<http://www.katsura.com>

## ピロリ菌除菌で胃を守ろう

消化器センター  
消化器内科 部長  
日下 利広



日本人には胃炎・胃十二指腸潰瘍・胃がんが多く、それらの最大の原因はピロリ菌感染と考えられています。ピロリ菌は正式にはヘリコバクター・ピロリと称されるらせん状の細菌で、口から侵入し多くは胃の中に永く住み着きます。日本人の50%程度に感染していますが、大部分は50歳以上の方々に、衛生状態の良くない時代に感染したものと考えられており、若い世代の感染率は低下しています。ピロリ菌は胃酸(酸性)から身を守るためにアルカリ性のアンモニアをまとい、このアンモニアや菌が産生する毒素で胃粘膜に炎症を引き起こす結果、種々の病態が惹起されます。胃がんに関しては疫学的に感染者は非感染者の10倍以上の発生リスクがあるとされており、除菌前には内視鏡検査が必須です。

ピロリ菌感染の確認には、内視鏡生検材料を用いる侵襲的検査と血液や尿、呼気を用いる非侵襲的検査があります。ピロリ菌を除去するためには除菌療法が必要ですが、従来の保険診療適応であった①胃・十二指腸潰瘍 ②胃MALTリンパ腫 ③特発性血小板減少性紫斑病 ④早期胃癌に対する内視鏡治療後の患者以外に、2013年2月に⑤内視鏡検査で胃炎と

確認されたヘリコバクター・ピロリ感染胃炎に保険診療適応が追加されました。この結果、従来は経過観察や自費診療での除菌を行っていた慢性胃炎の患者にも、ピロリ菌感染の保険診療が可能となりました。①から⑤の疾患があり、ピロリ菌感染が判明した場合には胃酸分泌を抑えるプロトンポンプ阻害薬と抗菌薬2種類を使った除菌療法が行われます。保険適応の除菌療法には抗菌薬の種類によって、1次除菌法と1次除菌不成功例への2次除菌法があり、両方で除菌成功率は90%以上です。除菌療法の主な副作用は軟便・下痢、味覚障害ですが、これらは内服終了後には治まるため、通常治療は継続されます。まれにアレルギー症状や出血性大腸炎が起きることがあり、その際には治療は中止されます。除菌療法が成功すれば再感染することはほぼないうえに、多くの人は胃の調子も良くなるので検査が億劫になりますが、胃がんリスクがゼロになる訳ではないので、定期的な内視鏡検査は必須です。



## 京都桂病院 土曜コンサート

今回は、林 琢也さんによるピアノの弾き語りでお楽しみいただきます。  
入院されている患者さんだけでなく、外来へ通院中の方・在宅で療養されている方・そして地域の皆様もぜひご鑑賞ください。

お楽しみに!

日時：9月21日(土) 午後2時～3時  
会場：外来棟1階ロビーにて  
曲目：◆ 月の光 / ドビュッシー  
◆ 子犬のワルツ / ショパン  
◆ どうぶつさんメドレー ほか